

愛知県豊橋市を訪問し、自然栽培野菜の生産、農福連携事業等を運営する株式会社ベジモ、介護予防通所サービス「ハートケア」等を行う株式会社ソトエを視察しました。（2026年9月17日）



農園は、豊橋市保健センターの隣で、便利の良い場所。障害者作業所や放課後デイサービスに用いる農耕道具が整然と整っていました。ベジモ社長の小林寛利様(左)と藤田学園人事部業務・就労推進課課長を兼務する藤田智久課長との会話も弾みます。



障害者の農福連携を行うだけでなく、自然栽培の無理のない普及を目指して、貸し農園も行い、1ha の農地を多目的に利用。農薬、化学肥料を使わない自然栽培のやり方を利用者に助言・指導。隣接地に豊橋ハートセンターを移転し、高齢者が健康増進を目的に、医療、食、運動を組合せて健康に導く「健康テーマパーク」構想を推進中。



介護予防通所サービス「ハートケア」は、通常のデイサービスのイメージを大きく変革。きれいで、皆が口腔体操、食事、身体機能に応じた農作業(グリーンリハ)など、高齢者が積極的に楽しめるスケジュールを設定。利用者が皆さん生き生きと作業。ソトエ(「外へ出よう」のコンセプト)の太田信也様は調理配膳も担当。



昼食は、デイサービスの食事とは思えない内容。自然栽培でとれた野菜を使って調理。本日のメニューは、水餃子、ひじきと大豆の煮物、青菜と油揚げの生姜炒め、オクラの味噌汁、さんびん茶。大田さんに原料費が賄えないのではないかと尋ねると、そこは自家栽培なので、原価は意外と抑えられているとの説明。ご馳走さまでした。